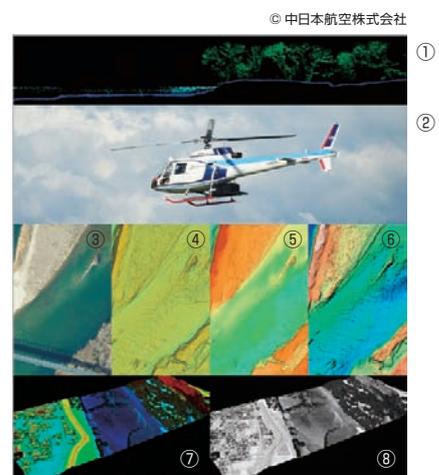


89 **トピックス**

ISO/TC 211総会報告	89
平成29年 地理情報標準認定資格 講習・試験 実施報告	91
地理空間計測・活用技術セミナー 2017in 仙台 開催報告	93
平成30年度社会・技術動向講演会 / 地区事業委員会のご案内	95
第40回測量調査技術発表会 開催のご案内	95
平成30年度 測量成果(地図) 品質向上講習会のご案内	96
発行図書案内 ... 97	評議員・役員・委員会・部会・WG・GISセンター等名簿 ... 100
投稿カード ... 98	会員名簿 ... 107
CPD ... 99	入会案内 ... 111

ヘリコプター搭載型航空レーザ測深 (ALB) システム SAKURA-GH / 中日本航空株式会社

2017年下期、定評ある弊社ヘリコプター搭載型の航空レーザ測量システム SAKURA の新型として、航空レーザ測深 (ALB: Airborne LiDAR Bathymetry) システム SAKURA-GH が稼働開始しました。当システム の中心となるグリーンレーザスキャナには、これまで同様 RIEGL 社製連続波形 記録方式の最新型航空レーザスキャナ VQ-880-G をベースにさらにヘリコプター搭載用に特注最適化した VQ-880-GH を採用し、自社航空機に修理 改造・搭載しました。システム名の GH には Green, Ground, Generation, Hydrographic, Helicopter, High-definition, など多様な意味合いが込め られていますが、最大の特徴は測深用レーザスキャナとして国内最高値とな るレーザ発射回数 55 万発 / 秒によって高精細・高密度 (平均 20~30 点 / m² 以上) な測深水底地形モデルが取得可能となることです (ただし測深深度 最大 1.5 セック)。合わせて当システムにはグリーンレーザ計測と同時取得が 可能となる、近赤外レーザスキャナ、1 億画素の可視 RGB 垂直航空カメラ、 1 億画素の近赤外垂直航空カメラ、そして 4K 動画ビデオカメラと、最新の複 数センサーを搭載しています。これらいずれの取得データにおいても、航空 レーザ計測によって得られる高精度な航跡時刻情報 (trajectory) を基準と した位置姿勢の同期及び標定を行うことが出来るため、空からの高品質かつ 多彩な空間情報取得に役立てて頂けます。



- ① 河岸部分におけるグリーンレーザ計測点群の断面表示例
- ② 航空レーザ測深システム SAKURA-GH (機体 AS350B / スキャナ RIEGL VQ-880-GH ほか)
- ③ グリーンレーザ計測同時撮影の航空デジタルカメラ (1 億画素) によるオルソフォト画像例
- ④ グリーンレーザ計測点群から作成した河床地形データによる地形起伏図 (特許第 5587677 号) 例
- ⑤ グリーンレーザ計測点群から作成した河床地形データによる標高段彩傾斜量図例
- ⑥ グリーンレーザ計測点群から作成した河床地形データによる標高段彩陰影図例
- ⑦ 河川堤内外グリーンレーザ計測点群の鳥瞰表示 (標高段彩色 + 反射強度) 例
- ⑧ 河川堤内外グリーンレーザ計測点群の鳥瞰表示 (反射強度のみ) 例
- ※いずれも愛知県岐阜県境にある木曾川中流部 2018 年 2 月の計測事例 (最大測深実績約 4m)